学校番号	１０７

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ （視唱C）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of music」　（教育芸術社　出版）						
副教材等	コンコーネ五十番（全音楽譜出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、教科書、プリントを綴じるためのファイル、コンコーネ、筆記用具を持参してください。
・新曲視唱の実践問題を行います。入試を想定して、また常に音楽性を大切にすることを意識して課題に取り組みます。
・ソルフェージュの力は、授業時間のみの学習で高めることはできません。毎回の授業から次の授業までの日々の自宅での反復練習が必要です。視唱の予習・復習を丁寧にすることでソルＢ（聴音）の力もつくのでぜひ実践してください。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
【知識及び技能】視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】音楽を形作っている要素の働きやその効果などに関する思考力・判断力、表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	視唱（コンコーネと新曲視唱）に関して、専門的な音楽に関する大切な資質・能力として、音楽理論の知識を基本とし、音楽を形作っている要素を正しく読み取り歌唱することについて理解を深めている。知識 正しい音程やリズム、拍など楽譜に表記されたことを正しく歌唱する技能を身につけて歌唱で表している。 技能	音高、リズム、フレーズのまとまりなど音楽を形作っている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を身につけ、それらを正しく捉えて視唱することにとどまらず、それらを音楽性豊かな表現の追求に活用できるものにできるよう、楽譜を見て、音楽を形作っている要素の働きや効果などについて、どのように歌うかについて独自の表現意図を持っている。	ソルフェージュを音楽性豊かな表現の追求に活用できることに関心をもち、それらの基礎となるコンコーネや新曲視唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎の振り返り	①新曲視唱課題 〔ハ長調　イ短調　ト長調 ホ短調　ヘ長調　ニ短調〕 ②ハ音記号ドリル課題 ③第１回試験 ④試験の結果を振り返り ➢自己分析シート ⑤自宅での反復練習による 内容定着を図る(夏休みの課題)	a:【知】コンコーネや新曲視唱に関して、専門的な音楽に関する大切な資質・能力として、音楽理論の知識を基に、副科声楽や声楽専攻実技受講生はその学びから得た知識を基礎とし、管弦打楽器専攻生は基礎的な発声法の知識を理解し、様々な譜表に書かれた楽譜から音楽を形作っている要素を正しく読み取り歌唱することについて理解を深めている。 【技】音楽理論の知識を基に、副科声楽や声楽専攻実技受講生はその学びから得た歌唱技術を基礎とし、管弦打楽器専攻生は基礎的な発声法の技術を身につけ、音高、リズム、拍などを正しく捉え、旋律における音の持つ方向性やフレーズのまとまり、自然な抑揚といった音楽性豊かな表現に発展させ、楽譜に表記されたことを正しく歌唱する技能を身につけて歌唱で表している。 b: 音高、リズム、フレーズのまとまりなど音楽を形作っている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を身につけ、それらを正しく捉えて視唱することとともに、それらを音楽性豊かな表現の追求に活用できるよう、楽譜からその形式を知覚し音楽を形作っている要素の働きや効果などについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図を持っている。 c: ソルフェージュでの学習を各自の専攻実技などに生かすことができる音楽性豊かな表現の追求に応用することに関心をもち、それらの基礎となるコンコーネや新曲視唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	演奏聴取 実技試験 演奏聴取 実技試験	演奏聴取 実技試験	振り返りシート
後期	発展	⑥新曲視唱 〔ニ長調　ロ短調　変ロ長調　ト短調　イ長調　嬰ヘ短調 変ホ長調　ハ短調　〕 ⑦伴奏付き新曲課題 ⑧自宅での反復練習による 内容定着を図る(冬休みの課題) ⑨第2回試験 ⑩試験の結果を振り返り ➢自己分析シート ⑪新曲視唱 〔ホ長調　嬰ハ短調　変イ長調 ヘ短調　〕 ⑫伴奏付き新曲課題				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度